

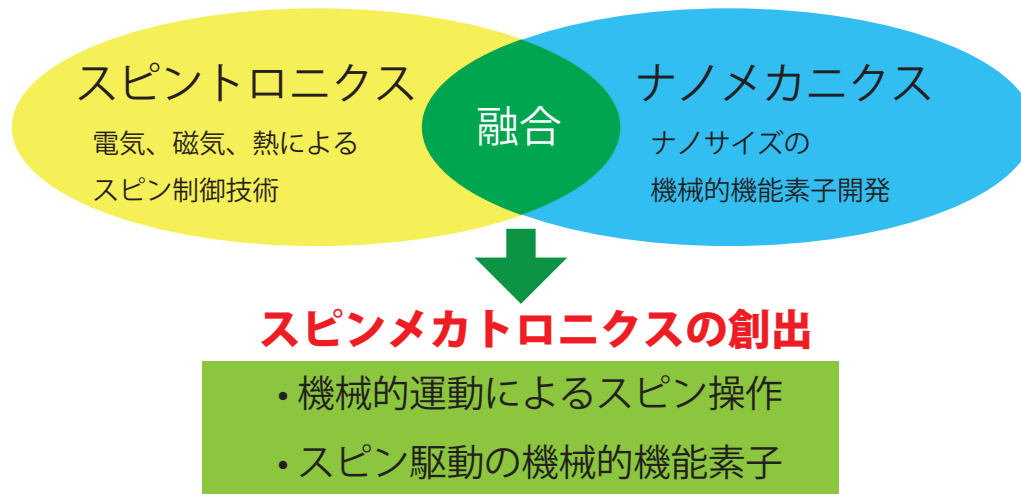
回転運動によって操作された原子核スピンの直接測定に成功



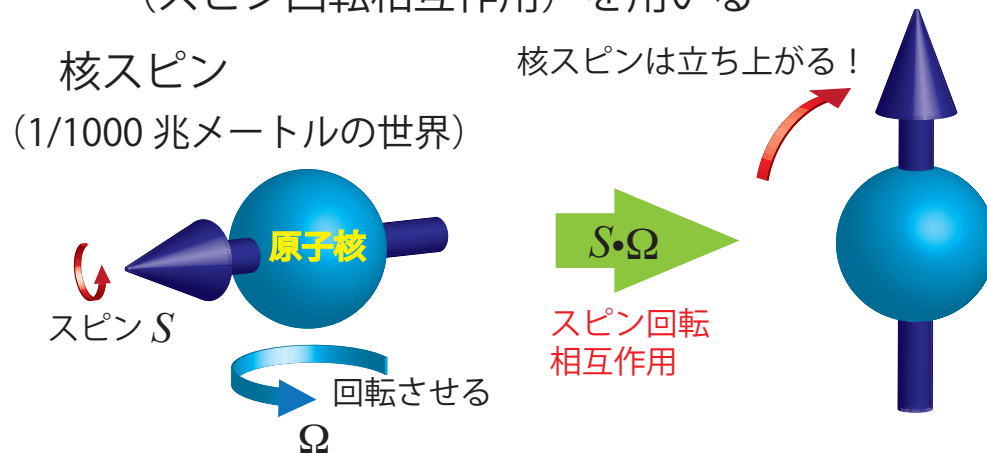
—スピンを用いたナノメカニクス研究の加速へ—



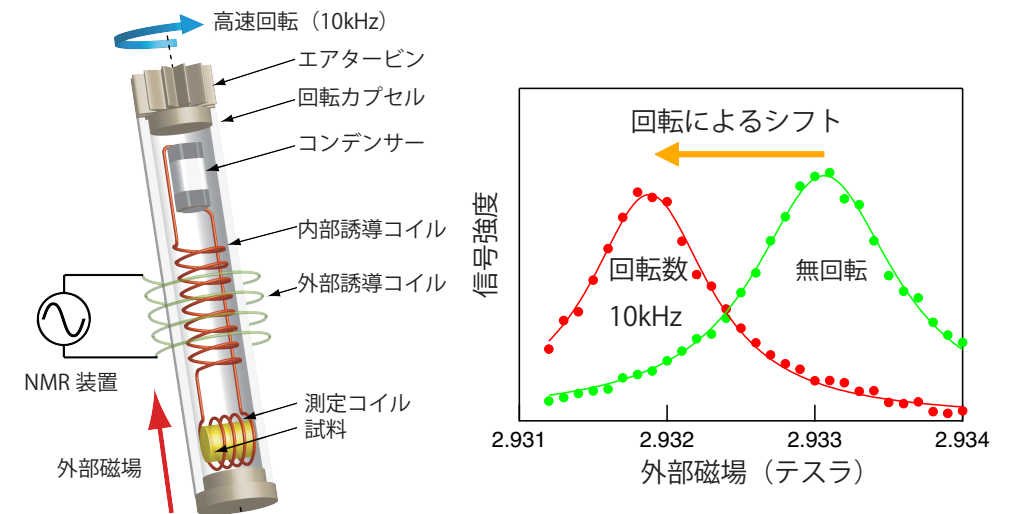
目的：2つのナノテクノロジー分野を融合



原理：外部からの回転運動と核スピンの相互作用
(スピン回転相互作用) を用いる



開発した手法：核磁気共鳴法（NMR）により
回転による信号のシフトを観測



結論：マクロな回転運動とミクロなスピンの
相互作用を実証

今後の展開：スピン駆動ナノモーターの開発に期待

